

読書に正解はない。

読書を通じて、自身の内面や生活などのさまざまな変化を綴る「全国高校生読書体験記コンクール」。第45回コンクールで一ツ橋文芸教育振興会賞(中央入賞)を果たした向井理湖さんに読書がもたらした心境の変化や読書への向き合い方の変化を伺いました。

「私は読書が嫌いだ。」この印象的な一文で始まる作品が、応募作品総数5万5961編の中から見事受賞を果たしました。「読書」となると気が進まないタイプだった向井さん。感銘を受けた一冊との出会いを伺いました。

「読書体験記を綴るにあたり、まずは図書館で本を探しました。読書が苦手なこともあり、なかなか心惹かれるものが見つかりませんでした。そんな時、読書家である姉から『理湖みたいの本を読むことが苦手な人が書いた本があるよ』と紹介してもらった本が運命の一冊になりました」

向井さんは紹介された一冊を読み終え、心境に変化があったと語ります。「読書に正解はないということです。自由に想像しながら読む私にとって、

国語の授業での読書は「正答」を求められ、それが原因となり、少しずつ読書から遠ざかっていました。しかし、この本を読んでから読書は堅苦しいものではなく、もっと自由で、人それぞれの視点で楽しめるものだと思えるようになりました。私は、文中に出てきた色を使って、絵を描きながら楽しみました」

今回の執筆で、読書への向き合い方に変化があったと語ります。

「読書を通して、異なる考え方や世界に触れることができ、視野が広がりました。本を読む前は知らなかった感情や世界に出会い、新しい読書の楽しさを見つけました」

読書に正解はない。本当の「読書」と出会うために、自分なりの読書方法を見つけよう。



向井 理湖さん(吉田東町)

● 第45回全国高校生読書体験記コンクール
一ツ橋文芸教育振興会賞 受賞



▲第45回全国高校生読書体験記コンクールの授賞式の様子。向井さん(左)

受賞作品はこちら▼



大ちゃんコラム

燕市長 佐野大輔

今月号からコラムを掲載します。日々の何気ないことや皆さんにお伝えしたいことなどを発信していきます。

3月20日に燕市合併20周年式典を開催し、無事に終えることができました。旧3市町が合併してそんなに経ったの? という人が多かったのが印象的でした。この節目を機に、新たな時代へ向かって皆さんと一緒に燕市をさらに盛り上げていきたいと思えます。

また、4月26日(日)から「市民とのふれあいトーク」が始まります。皆さんと直接お会いできることを楽しみにしています。私自身、人と話すことが好きですので、ぜひ気軽に声をかけていただけると嬉しいです。

車の買取りならお任せ!! 夢っくる分水店

有限会社 中野自動車商会

リサイクル・リユースを促進し、大切な資源に新しい命を吹き込むお手伝いをします。

燕市笈ヶ島 1259-1
tel.0120-559-154



1st **あなたの“3日坊主”にピリオド**

初心者指導の専門家が、あなたのペースに合わせて丁寧にサポート

入会金・5,500円 / 24H オープンジム・月額 6,600円

セミパーソナルプラン 月4回 月14,800円 通い放題 月19,800円	パーソナルプラン 月4回 月24,800円 通い放題 月34,800円
--	--

MUSCLE COMMUNITY **IGUGYM** 【イグジム】
新潟県燕市中央通り2-3-19 1F 24時間営業
TEL: 090-6503-0345

井口大史 井口大史 (MIYAGUCHI DAISHI)

公式HP Instagram

◀こちらは有料広告です。

※この広報紙は、環境にやさしいベジタブル・オイル・インクを使用しています。